

SPIRITS-J

Sitagliptin Registration Type2 Diabetes - Juntendo Collaborating Project

2型糖尿病患者に対するシタグリプチン投与による血糖コントロールへの影響に関する調査

SPIRITS-J NEWS LETTER 8月号

夕立を心待ちにしたくなるような猛暑の毎日が続いておりますが、先生方におかれましては、夏バテをしている暇もないほど、ご活躍のことと思います。

ついに臨床研究センターのホームページが完成しました！是非、アクセスして見て下さい。また、SPIRITS-Jの情報はID“mezase”とパスワード“3000”でログイン可能です。

さて、9月に実施される第2回糖尿病循環器研究会において、中間解析発表の予定ですが、現時点での症例登録状況は残念ながら芳しくありません（8月18日現在__施設__症例）。シタグリプチンの長期処方が出来ないことも原因だと思っておりますが、多くの先生方に症例を登録して頂けるようにCRCが頑張ってお手伝い致します。ご要望がありましたら、お気軽に電話やメールでお問い合わせください。

また、当初は8月上旬より開始予定であった、eDCシステムを用いたweb登録の作業が遅れており、大変ご迷惑をお掛けしております。今月末までの稼働を目指して作業が進行中ですが、後日、詳細はあらためてご連絡致します。

*第2回糖尿病循環器研究会の参加確認書と旅費申請書を同封致しました。必要事項をご記入の上、お手数ですが事務局までご返信頂けるようお願い申し上げます。

今月のトピックス

国内初 GLP-1 アナログ製剤「ビクトーザ皮下注」発売！

食事摂取に伴い消化管から分泌され、膵細胞に作用してインスリン分泌を促進するインクレチンとして、現在、GIP (glucose-dependent insulintropic polypeptide) と GLP (glucagon-like polypeptide) -1 の2つのホルモンが確認されています。GLP-1は生体内で小腸下部のL細胞から分泌され、膵細胞でのインスリン分泌を促進するとともに、膵細胞のグルカゴン分泌を抑制し、中枢では摂食抑制ホルモンとして作用します。リラグルチド (商品名：ビクトーザ皮下注 18mg) はGLP-1のアナログ製剤で、1日1回の皮下注射で補う薬剤です。適応は、次のいずれかの治療で効果不十分な2型糖尿病に限られています：食事療法、運動療法のみ、食事療法、運動療法のみに加えてSU剤を使用。国内臨床試験では、33.7%に何らかの副作用が報告されており、主なものは便秘 (5%以上)、重篤な副作用として低血糖、膵炎などの注意が必要です。

順天堂大学循環器内科 代田浩之 大村寛敏
糖尿病内分泌内科 綿田裕孝 三田智也
臨床研究センター 松岡 淨 橋本友紀